

交通事故編 14

唇がいびつになるほどの傷あとも
レーザー治療でほぼ元の形に

Before



履歴

- 17歳(当時)女性
- 顔面の肥厚性瘢痕
- 通院期間：8ヶ月

家族が運転する車で交通事故に遭っています。事故の際の衝撃でフロントガラスに顔面を強く打ちつけてしまい、唇を裂傷しました。救急病院での縫合後、傷が小さかったので安心していましたが、次第に唇の形がいびつになって盛り上がってきたので、レーザーで治療を始めました。

ドクターメモ

唇が傷によって引きつれていましたが、内科的レーザー治療(LLLT)で唇も正常に近い形まで治りました。Afterの写真では、まだ傷あとがありますが、年月が経てば目立たなくなるものと思います。またさらにレーザー治療によって、きれいにする方法もあります。

After



90%

治療方法

- 半導体レーザー(LLLT)/36回
- 炭酸ガスレーザー(HLLT)/1回
- アルゴンレーザー(HLLT)/4回
- Nd:YAGレーザー(LLLT)/2回

傷によって唇が引きつれていましたが、組織の欠損はありませんでしたので、内科的レーザー治療(LLLT)を行ったところ、引きつれもとれました。最初は週に2回の治療を2週間、その後は週に1回の治療を2ヶ月間、それから2週間に1回通院し、傷あとはきれいになり、唇も元の形に近くなりました。